

## 一学期を振り返って

『吉里吉里学園まなびフェスト』の1学期達成状況について、生徒・保護者・教職員が評価活動を行いました。評価項目は、『確かな学力』『豊かな人間性』『健康な心と身体』『未来に生きる郷土愛』の4つです。1学期の成果と課題をしっかりと受け止め、2学期の教育活動に反映させていきたいと思ひます。

### 確かな学力



項目	取り組みの成果 ○ 2学期の改善点 ●
<p><b>「わかる授業」の実践</b> 9年間を貫いた授業スタイルを実践する 自ら課題解決の考えを持ち、積極的に学び合い参加した</p>	<p>○授業スタイルについては、教師も生徒も習慣化され、定着してきている。個人差はあるが、生徒がアウトプットできる授業にするよう心掛けている。課題設定、まとめ・振り返りは意識した。</p> <p>○『よくできた』『まあまあできた』を合わせると、7年生100%、8年生92.8%、9年生71.4%であり、学年によって評価の厳しさも見られるがどの学年も実践できている。</p> <p>●『まとめ・振り返り』の時間を確保するための授業改善を図る。</p>
<p>『授業がわかる』生徒の割合を80%に引き上げる</p>	<p>○『授業がわかる』『まあまあわかる』と回答をした生徒は、7学年が100%、8学年100%、9学年85.7%であった。</p> <p>●個に応じたさらにきめ細かに授業改善を行う。</p>
<p><b>家庭学習の充実</b> 帰りの短活で家庭学習計画を立てる</p>	<p>○短学活の流れは、定着してきて順調に取り組まれているように思う。復習中心の宿題にしている。終短活の家庭学習計画づくりでは、課題をメモする程度に終わっているが、記入の時間は確保している。</p> <p>○『よくできた』『まあまあできた』を合わせると、7年生100%、8年生100%、9年生71.4%であり、学年によって評価の厳しさも見られるがどの学年も意識して取り組み、実践できている。</p> <p>●宿題をこなすことに精いっぱい、さらに向上させようという学習にはつなげられていない。短活での指導のさらなる充実を図るとともに、個に応じた支援を行う。</p>
<p>進んで宿題と自主学習に取り組む生徒を育てる</p>	<p>○9年生は、宿題で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると71.4%、自主学習で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると57.2%であった。</p> <p>○8年生は、宿題で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると85.7%、自主学習で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると85.7%であった。</p> <p>○7年生は、宿題で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると77.8%、自主学習で『よくできた』『まあまあできた』を合わせると100%であった。</p> <p>○毎日の家庭学習計画づくりを実践している生徒は、宿題及び自主学習をしっかりと行なっている傾向にある。</p> <p>●授業と家庭学習を連動させる授業の充実を図る。また、生徒たちが興味を持ち『学びたい』と思わせる工夫を行う。宿題を出せない生徒の指導に手を焼いている。学年委員会の取り組みも仕組んでいるが、成果は今ひとつ。</p>
<p><b>学習規律の定着</b> 学習のきまりを守り、授業に主体的に参加できる生徒を育てる</p>	<p>○『よくできた』『まあまあ出来た』を合わせると、7年生100%、8年生85.7%、9年生78.6%であり、学年によって評価の厳しさも見られるがどの学年も意識して取り組み、実践できている。</p> <p>○学習のきまりは、各学年その日の目標にも取り上げられ、生徒会の取り組みも含めて自治的に行なわれている。</p> <p>●2学期も1学期同様の取組を行う。</p>

# 豊かな人間性

項目	取り組みの成果 ○ 2学期の改善点 ●
自己肯定感を高める 『自分によいところがある』生徒を80%以上に引き上げる	○『ある』という回答は、7年生44.4%、8年生21.4%、9年生7.1%であった。『まあまあある』との回答を含めると、7年生88.8%、8年生64.3%、9年生50.0%である。 ○『ない』という回答が、9年生21.4%であった。 ○生徒一人一人が自信を持って生活ができることを目的とした「いいとこみつけ」の記入を定期的に行ない自己肯定感が高まる働きかけを行っている。いいとこみつけは、生徒にとって有用感をはぐくむとてもよい方法だと思う。今後も継続していきたい。 ●9年生は自己肯定感がやや低かったが、いいとこみつけや部活動、学習活動で認められたことで、表情が明るくなってきている生徒も見られてきたので、2学期も「いいとこみつけ」を継続して行い、自己肯定感を実感できるようにさせていきたい。
主体的な自治活動 目標に向かって主体的な自治活動が出来る生徒を80%以上に引き上げる	○『できた』という回答は、7年生77.8%、8年生42.9%、9年生14.3%であった。『まあまあできた』との回答を含めると、どの学年もほぼ80%以上であった。 ○8、9年生は、自己評価の厳しさから出た結果と考えられる。 ○中心となる生徒がリーダーシップを発揮しながら、各行事にむけて、持っている力を十分に発揮できたと思う。日常の取り組みも、テーマを十分に意識して活動させられたと思う。見通しを持つこと、自分たちで工夫しながら行うよう声をかけるようにした。 ●日常や文化祭等の行事の取り組みを通して、更に生徒たちで創る学園を目指したい。
感謝と思いやり 周りのことを考え、行動しようとする生徒を80%以上に引き上げる	○『行動しようとしている』という回答は、7年生44.4%、8年生42.9%、9年生14.3%であった。『まあまあしている』との回答を含めると、7年生は100%、8年生は92.9%、9年生は64.3%であった。 ○教育相談から、個々のもっている悩みに早期に対応できたと思う。声をかけ続けている。 ●どの価値項目をどのように生かしていけるのか、学年間や全職員で共有し、生徒たちの評価の充実を図っていきたい。
キャリア教育の充実 『将来の夢や就きたい仕事などについて考えることができた』を80%に引き上げる	○『できた』『まあまあできた』を含めると、7年生88.9%、8年生92.8%、9年生64.3%であった。 ○9年生は、自己評価の厳しさから出た結果と考えられる。将来の夢や職業について深く、考えている結果であった。 ●9月のキャリアウイークを中心に進路について考えを深める取り組みを充実させる。 7年生一町内企業での見学・研修学習 8年生一太槌町内での職場体験学習 9年生一上級学校体験学習（大学・専門学校体験見学）

## 岩手県中学校総合体育大会

令和元年7月13日（土）14日（日）に岩手県内を会場として岩手県中学校総合体育大会が開催されました。本学園からは、男子バレー部、男子卓球部の佐野勇次郎君、女子卓球部団体と個人では、田中彩乃さん、佐野史沙さん、関谷有紗さんが出場しました。男子バレーは花巻市総合体育館で行なわれ、1回戦は一関市立磐井中学校との対戦でした。今年度入部した四人の7年生を含めて7名、これまで練習してきた成果を出そうと一生懸命にボールに向かう姿勢が見られた試合でした。結果は、0-2と目標の1勝はできませんでしたが、最後まで諦めない全員でのプレーでした。卓球は久慈市民体育館で行なわれ、初日の女子団体戦では、1回戦九戸村立九戸中学校との対戦でした。結果は3-0で勝利しました。県大会の雰囲気にも呑まれることなくチーム一丸となつての初戦突破となりました。続く2回戦は花巻市立石鳥谷中学校との対戦でした。結果は1-3で2回戦を突破することは出来ませんでした。2日目の個人戦では、佐野勇次郎くん、関谷有紗さん、佐野史沙さん、田中彩乃さんがそれぞれ1回戦を戦いました。残念ながら、佐野史沙さんが2回戦惜敗でしたが、みんなの試合も最後まで諦めることなく果敢に挑んだ試合でした。個人戦の難しさ、大舞台で自分の力を発揮することの難しさを感じる試合だったように思います。参加した選手の皆さんは、この大会を通して沢山のことを学べたと思います。その学びをこれからの生活に生かしていきましょう！

